

小学部



ことばあそびタイム

幼稚部



お楽しみ会

高等部



弁論大会

中学部



スケート教室

無花果

No.185

令和3年3月10日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

皆さまのご健康を心より祈っています

校長 大沢和浩



新型コロナウイルス感染予防のため、多くのイベント等がキャンセルになっています。本校でも新型コロナウイルスの影響で各種行事が中止されたり、縮小や延期されたりしています。医療従事者等の方は、献身的なお仕事ありがとうございます。各地で状況は異なることかと思いますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

こんな状況の今こそ大切なことは、免疫力のアップです。そのためにはまず、ナチュラルキラー（NK）細胞というリンパ球を活性化することが大切ですが、そのためには良質な睡眠と、ストレスを軽減すること。次に発酵食品やビタミンCで腸内環境を整えること。楽しく笑うことが有効と言われています。また、スキンケアにより心が安定し、幸福感を感じるオキシトシンというホルモンが出ます。スキンケアは今の状況では難しいかもしれませんが、自分の好きな肌触りのタオルや、ぬいぐるみに触れるだけでも、スキンケアと同様の効果があるそうです。動物との触れ合いも有効です。こちらも、動物の写真や動画を見ているだけでもオキシトシンがアップするそうですので、試してみる価値はあります。ぜひ、NK細胞活性化、オキシトシンというキーワードで情報を収集し、実行して、自己治癒力をアップしてください。呼吸法もお勧めなリラクゼーションです。いろいろと心配事が出てくるとは思いますが、「今こそ、この一瞬一瞬に注目」することを意識して深呼吸してみませんか。簡単にリフレッシュができます。あまりにもつらいときは、人に気持ちを聞いてもらいましょう。話せないときは、書き出すだけでも効果があります。

コロナ禍だからできることがあります。皆さまも得意なことやいつもならやらないようなことをこの時期やってみて、いろいろ気づきを深めてみませんか。

一日も早く、この状態が終息することを心から願っています。決してコロナウイルスを侮ることなく、ストレスを減らし平常心をキープしていきましょう。皆さまのご健康を心より祈っています。

祝 卒業

小学部

ホップステップジャンプ！

小学部六年担任 佐々木 寿子
この六年間、心も体もぐんぐん成長し、すっかり頼もしい二人になりましたね。一緒に笑ったり、時には怒ったり、涙したりしながら、いろいろなことを経験することができました。中学部では、楽しいこともたくさん、頑張ることもたくさんあります。これから、いろいろなことに挑戦し、さらに成長してってください。応援しています。

◇佐々木 琉加
ぼくが一番の思い出は、修学旅行です。横手のかまくら館では、本物のかまくらを見ることができました。とても大きくてびっくりしました。中学部では勉強をがんばりたいです。

◇中島 琴音
学習発表会では、練習の時、友達とタイミングを合わせるのが難しかったです。でも、本番では息を合わせて演技できました。成功して、気分がスカッとなりました。

中学部

よさをそのままに

中学部三年担任 加賀谷 裕子
相手の立場に置き換えて「大丈夫かな」「大変だね」と考えられるところ、ニユースをよく見ていて社会に広く目を向けているところ、陰ながらの努力はもちろん、いざという本番に強いところ、冗談好きでみんなと会話を楽しくもうとするところ：蘭丸さんにはたくさんのおよびがあります。これからも、そのままに、なりたい自分を見つけて成長し続けてってください。



修学旅行にて



練習風景
～ギターコードの確認

高等部

誰かのせいではなく大人として

高等部三年担任 伊藤 友和
大人になるって何だか分かりませんが、「自立」がキーワードになる気がします。一人の大人として責任をもった行動をし、失敗しても誰かのせいにならず、謙虚に努力を重ね、周囲から信頼される大人を目指してください。でも、誰かに頼る力も大事ですよ。自分からたくさんつながりを作ってください。活躍を期待しています。

◇荒川 太陽
一話もたくさん覚えることができ、勉強も集中しました。いつも友達や先生と一緒に面白い話をするのができました。ずっと楽しい三年間でした。

◇内山 健太
修学旅行で訪れた原爆ドーム、天龍寺の雲龍図がかっこよく印象深いです。仲間と一緒に勉強したり、会話したりして過ごした三年間は大切な思い出です。

◇鈴木 里桜

六年間、聴覚支援学校でたくさんのお話を学びました。これからは、周りから信頼されるような社会人を目指して頑張りたいと思います。

◇小玉 彪雅

幼稚部から十五年、乳幼児教室を含めると人生のすべてでお世話になりました。この上なく幸せで楽しい日々でした。学校とともに年齢を重ね、成長できました。



祝 卒業！

卒業生一覧

【小学部卒業】

佐々木 琉加
中島 琴音

【中学部卒業】

伊藤 蘭丸

【高等部卒業】

荒川 太陽
内山 健太
鈴木 里桜
小玉 彪雅

産業技術科
情報デザイン科

学部の行事コーナー

幼稚園部

心の鬼退治〜豆まき〜

大滝 侑子

二月一日、子どもたちに「みんなの心の鬼は何かな？」と聞くと、「野菜嫌い鬼」「ず〜っと眠い鬼」と家庭で考えてきた心の鬼を発表してくれました。意気込み充分、はじめは自分で描いた鬼の絵に元氣よく豆をまきます。これなら退治できるぞ、そう思った瞬間、ドンドンドン！大太鼓の音と共に勢いよく鬼が登場。驚きと怖さで、逃げて、泣いて、足がすくむ子どもたち。しかし友達や鬼に連れて行かれそうになると、足を踏み出し、果敢に豆をまきます。最後は涙をぐくと堪え、力を合わせて「鬼は外！福は内！」みんなの力で鬼を退治、鬼はこっそり逃げていきましました。これですばらくは出て来ないでしょう。



みんなの強い気持ちと成長が見られた豆まきになりました。

小学部

まんたらめに行つたよ

齊藤 徹

小学部では、例年まんたらめへの宿泊学習を計画していましたが、今年度はコロナ禍ということで、日帰りに変更して行うことにしました。

一日目は、焼き板工作を行いました。板を焼く際にガスバーナーを使うのですが、火を怖がる児童もいて、緊張している様子が見られました。しかし、すぐにコツをつかんで、板が真っ黒になるまで、楽しみながら焼くことができました。

二日目は、そり遊びを計画していましたが、猛吹雪のため中止となっていました。

宿泊の予定が日帰りでの活動へ、さらに吹雪により一日目のみの活動へと、変更に次ぐ変更でしたが、思い出に残る校外学習になりました。



中学部

下北手中学校との「百人一首大会」

吉尾 香

一月二十日、交流校である下北手中学校と本校との「合同百人一首大会」に参加しました。六年目の参加となる今年度は、事前に全日本かるた協会の方から札を取るコツ(和歌の覚え方や姿勢)を教えていただき大会に臨みました。

練習の甲斐あって一首目から連続して札を取り、周囲から「お〜！」という歓声が上がりました。全体で四十三枚の札が読まれた中で、ペアになった下北手中学生と合わせて二十二枚を獲得。閉会式では「自分の目標枚数よりは少なく悔しいけれど楽しかったです。三年間ありがとうございました。」と感想を発表し、たくさんの拍手が送られました。同じ学年の友達に、体育祭などの思い出について手話を交えながら話すと、みんな注目し頷きながら聞いていました。交流を重ねてきたことで、同世代の友達との絆を育むことができました。



高等部

きらり高等部とのオンライン交流

熊谷 花菜

感染症対策として初めてオンラインできらり支援学校高等部との交流を実施しました。今回の交流では、学習発表会で披露したダンスをきらり支援学校の皆さんに教えて、一緒に踊りました。振付のポイントを紙に書いたり、カウントに分けて丁寧に説明したりと、それぞれのグループで相手に伝わりやすい方法を考えて交流に臨みました。当日は緊張している生徒もいましたが、きらり支援学校の皆さんから「楽しかった」や「また一緒に踊りましょう」と感想をもらい、初めてのオンライン交流を大成功で終えることができました。



寄宿舎から

合同避難訓練（不審者想定）

長里 ひとみ

一月二十六日、視覚支援学校と合同で「寄宿舎玄関に不審な男がいる」という想定で訓練を行いました。事前に行った「防災学習会」で合言葉「いかのおすし」（行かない・乗らない・大声で叫ぶ・すぐ逃げる・知らせる）について確認をしました。訓練では、職員の指示に従い、鍵の付いた部屋に落ち着いて避難することができました。生徒からは「不審者に見つからないように電気を消して静かにしていた」「避難した場所で待っている時間が長く感じ、緊張した」などの感想が聞かれました。今後も安全に気を付けて、生活したいと思っています。



PTA研修会に参加して

長門 千佳

今年度は、高等部専攻科を修了された赤坂弥風さんに講演していただきました。

仕事に就くまでのこと、失敗談、上司や先輩からのアドバイス、休日の過ごし方、仲間と連絡を取り合って日々頑張っている様子など、貴重なお話を聞くことができました。

まだまだ先だと思っていた我が子も、あつという間に進路を考える時期になりました。不安や期待のある中、赤坂さんのお話がとても心に響きました。またこのような機会があれば参加したいと思っています。

スーツ姿が素敵で頼もしい弥風先輩！ありがとうございました。



乳幼児・幼児教育相談について

乳幼児・幼児教育相談担当

佐藤 操

本校では、新生児聴覚スクリーニングや就学前の健診等で聞こえにくさが分かったお子さんとご家族を支援しています。〇〜二歳児の乳幼児教室には十七名、三〜五歳児の幼児教育相談には十一名のお子さんご家族が全県各地から定期的に来校しています。

乳幼児教室では、全県に点在するご家族の出会いの場として、例年一回土曜日に「合同保育」を実施しています。今年度はコロナ禍のため十二月一回のみになりましたが、楽しい時間を過ごすことができました。幼児教育相談ではお子さんに合わせた個別指導と就学相談等を行っています。これからも聞こえにくさのあるお子さんご家族への丁寧な支援に努めていきたいと思っています。



乳幼児教室 合同保育



幼児個別相談

ニュース・トピックス

◎全国聾学校体育賞

高等部三年 荒川 太陽

◎令和二年度 学校賞

体育賞 高等部三年 荒川 太陽

◎第七十七回秋田・南秋地区高校美術連盟展
 絵画部門

連盟賞 高等部一年 島山 陽稀

入選 高等部一年 長門 里紗

入選 高等部一年 藤原 心華



島山陽稀 「時間の経過」

お知らせ

日頃よりベルマーク収集活動へのご協力ありがとうございます。引き続き活動中ですので、ご提出の際は担任または収集ボックスへお願いします。
 ※ベルマークを切り取る際は番号や点数がわかるよう、余裕を持って切ってください。



編集後記

今年の冬は、記録的な大雪となりましたが、春もすぐそこまでやってきました。卒業生のみならず、おめでとうございます。新しい生活への期待と希望を胸に、一歩一歩自信をもって進んでいってください。今後の更なる活躍を応援しています。
 来年度も、本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。